

作成者上田治彦

1. 2015年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	20,037	102.9	↑
支出	16,971	89.0	↗
経常収支差額	3,066	548.5	↑



評価：現在利用契約者は12名で、10名は通所できている。6名の新生が入り、毎日通える力があつたので、稼働率はあがつた。ただ、10名のメンバーさん、4名の職員がそろつと狭い環境で、他害行為、壁などへの破壊行為などが多発した。2年生の進路先探しを本人の希望、家族さんの意見を聞きつつ、他の事業所の実習を実施。4名の卒業生の進路先が決まる。

② 職員配置と研修（職員数は2016年2月現在）

主担の職員が2名、パート2名（登録6名）、運転手1名で事業を行った。つみきで大切にしている「視覚的・具体的・肯定的」を職員で共通理解する為、自部門で勉強会を開催している。また、つみきと同じ目的の『学びの場』を実施している事業所とも連携し、意見交換などを行っている。

③ 事業内容

2015年度は6名の方が入学された。昨年に引き続き他事業所連携として合同企画を行い、つみきメンバーもダンス・手話唄の舞台発表、貝塚・岸和田キャンプを行った。調理、買い物、洗濯、話し合い、室内清掃、ヨガを日々のスケジュールとして行っている。経験をつみ、自分のしたい事を表現できる。またしたくない事も伝えられるように支援をしています。外出企画も職員だけで準備せずにメンバーさんと交通経路を決めるなどしている。USJ、みかん狩り、住吉大社にまつり、初詣などの外出経験を行った。

つみきを知ってもらう為に、特別支援学校の実習受け入れ、家族会などの見学受け入れを率先して行う。引き続き、受け入れを行う。


④ 品質管理

ひやりはつと・事故報告：行動が激しいメンバーさんの支援を様々な形で進めるが、他害行為、物損などのなるケース多数があつた。時期によって学生さんが靴下をトイレなどに流すというこだわりがあり、家族さんと情報共有しつつ支援を進めるが、トイレへの異物流しが複数回。メンバーさんの行方不明、車両接触などのヒヤリ・事故があつたので、その都度会議で確認して再発防止に向けて話あつた。

苦情：急な予定変更の際の伝達ミス、企画が立て続けに実施、メンバーさんに叩かれた事を家族に報告せずなどあつた。⇒すみやかに現場と管理者が苦情内容を確認して、今後につなげるように改善できることは実施している。

## 2. 2016年度の計画

### ① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	20,015		4名の新入生が入学するため昨年度より稼働率向上を目指す。
支出	16,430		事業の移転、移転に伴う家賃など経費

### ② 主課題

- ・移転した先の構造化を進めて、誰もが活動しやすい環境をつくる。
- ・2年生の本人にあった進路先探しを家族さん、特別支援学校の進路の先生と連携し、進める。
- ・他事業所との連携を引き続き行い、『学びの場』を啓発、情報交換を行う。
- ・よりよい支援のために、PECSの導入し、自閉症の方の発信力、折り合いなどの力を高めたい。

### ③ 年間事業計画(予定)

4月	入学式・事業所移転	11月	2年生懇談
5月	2年生懇談	12月	1年生懇談
6月	1年生懇談	1月	おおさか学びの場交流会(21日)
7月		2月	2年生懇談
8月	盆休み(13-15)・2年生懇談	3月	卒業式・1年生懇談
9月	キャンプ・1年生懇談		
10月			

1. 2015 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み	予算比 (%)	前年比
収入	9,535	95.4
支出	8,611	55.4
経常収支差額	924	

評価：利用者数は安定しなかったが、職員の欠員補充がないまま経過したこともあり予算では赤字も黒字化が可能な状況



② 職員配置と研修（職員数は 2016 年 1 月現在）

・年度途中で職員一名退職し、パート募集を図るも、苦戦(2016 年 1 月現在で正職員 1 名、パート 1 名。同年 2 月よりパート 2 名に増員も、出勤可能日が少なく実質 1 名体制)。適宜、ふうがの職員が応援に入り対応。

③ 事業内容

・利用者および地域住民のエンパワーメントとつながりづくりを目的にした「ありぼら」(生活サポーター事業)の創出を目指したが、職員体制の課題もあり十分に展開できず。個別支援および訪問事業の深化拡大においても同様の課題により不十分。

④ 品質管理

特記なし

2. 2016 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	16,000	↑	平均稼働率 通所 6 人/日、訪問 1 件/日として算出
支出	12,089	↑	

② 主課題

・稼働率の向上( ← 事業内容の充実＝個別支援の強化および地域支援の連動的展開、訪問事業の本格稼働 等により実現)  
 ・上記を促進するための職員体制の強化

③ 年間事業計画（予定）
